

# CTを用いた肺癌検診

仙北市民の皆様、私は仙北市で行っているコンピューター・トモグラフィー（通称CT）を用いた肺癌検診のお手伝いをしている秋田大学病院呼吸器外科の南谷佳弘と申します。この紙面を借りて皆様に仙北市で行っているCTを用いた肺癌検診をご紹介します。

統計によりますと、現在は2人に1人が癌になり、3人に1人が癌で亡くなる時代と言われています。これは「ご夫婦がいらっしゃれば、どちらか一方が癌になります。3人兄弟の場合は、どなたか1人が癌で命を失います」と言い換えることができます。癌は他人の問題ではなく、実はごく身近な問題なのです。

癌の中でも肺癌は最も死亡者数が多く、治療が難しい病気です。肺癌に罹患しても初期には自覚症状に乏しく、見つかった時にはかなり進行していることが多いことも、治療が難しい原因の一つです。しかし肺癌も早いうちに見つけさえすれば、恐れる必要はありません。実際、ごく早期のうちに見つかって手術を受けた肺癌患者さんは、ほぼ100%治る時代になりました。ではどうすれば早期の肺癌を見つけられるのでしょうか？私どもの外来を受診する患者さんやご家族から「毎年検診を受けていたのに、どうしてわからなかったんですか？もしかしたら見落とされていたんじゃないですか？」と聞かれることがよくあります。しかし実はこれは見落としではなく、カラクリがあります。一般の検診で撮影する胸部レントゲン写真に用いるエックス線は体を透過して体の内部を見ることができます。しかし胸部レントゲン写真は立体を平面のフィルムに写して見えています。そのため心臓と重なった影や淡い影は見えないことがあります。わかりやすく、身近な例で説明します。皆様がカメラで正面を向いている人を撮影するとき、後姿や横顔は写りません。例えば適切ではありませんが、同じようなことが胸部レントゲン写真でもおきています。

一方、CTは立体を輪切りにして立体のまま見ることができます。そのため心臓と重なった影や淡い影を見落とすことがありません。むしろ見えすぎることが問題になっているくらいです。実際にCTを用いて肺癌検診を行った場合には、胸部レントゲン写真を用いて行った検診の約10倍の確率で肺癌が見つかることがわかっています。またCTで見つかった肺癌の8割以上が早期の肺癌であるとも報告されています。最近話題のPETよりも肺癌に関しては発見率が高いことは私どもの間では常識です。ではなぜ全国の検診がCTで行われないのか？それは費用の問題があるからです。一般にCTを用いた肺癌ドックは約3万円が相場のようなようです。これを高いと見るか、安いと見るかは個人の価値観の問題だと思います。しかし仙北市の皆様は安い費用でCTを用いた肺癌検診を受けることができます。私を知る限りでは秋田県でCTを用いた肺癌検診を行っている地域は他にはありません。全国的にも数えるほどしかありません。私ども肺癌診療に携わる医療従事者は秋田県から肺癌で命を落とす方が一人でも減ればいいと願って日々診療を続けております。しかし実際には仙北市でこの制度を利用してCTを用いた肺癌検診を受けられる方はまだまだ少なく毎年150名程度です。肺癌の多くは喫煙と関係しています。もちろん禁煙が病気にならない最大の近道ではあります。しかし今までの喫煙歴を帳消しにすることは残念ながらできません。そういった意味でも喫煙者の方は肺癌で命を落とさないためにCTを用いた肺癌検診を受診することをお勧め致します。

今後、仙北市の皆様のご理解と満足感が他の地域に伝わって、CTを用いた肺癌検診が秋田県の他の地域にも広がれば、肺癌で命を落とす秋田県人が大きく減るものと期待しております。



みなみや よしひろ  
南谷 佳弘 医師

## 市立角館総合病院

### 肺がん検診について

マルチスライスCTによる検診です。検査時間は約2～3分で出来ます。なお、毎年検診を受けている方は、前年のCT写真と比較することで、より早期の肺癌を発見する確率が高くなりますので、毎年受診することをお勧めします。

【対象年齢】 40歳以上

【日程及び検診時間】

9月～10月30日 ※1日8人程度  
火曜・金曜 受付:午後3時～4時  
検査:午後3時～5時

【検診料金(社会保険加入者)】 2,000円

※国保加入者または70歳以上は無料

【予約受付時間】 午前9時～午後3時

【申込・問合せ】市立角館総合病院

総務企画課 TEL(54)2111